

農業経済学特論演習 I (2単位)

担当者氏名 野口 敬夫

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

経済のグローバル化、国際政治経済の変化における世界的な農業問題や農業貿易の自由化が引き起こす課題と対策を論ずる。本講義の到達目標は、政治経済学的な視点からグローバルな農業・食料問題に関する考え方を身につけることである。また、課題を通じて資料作成方法やプレゼンテーション能力、ディスカッション能力の向上を図る。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

国際政治経済 国際貿易 国際金融 農業貿易
多国籍アグリビジネス 反グローバリゼーション

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	本講義の狙いに関する解説	授業では各回のテーマごとに受講者が資料作成及びプレゼンテーションを行う。 予習としてはテキストの各回のテーマ部分を読んでくること。また、プレゼンテーション資料の作成を行ってもらう。復習としてはプレゼン資料とテキストを見直すこと。 予習・復習に、1時間～2時間程度の時間を確保すること。
2	グローバル経済の動向	国際政治経済の歴史的展開	
3	国際貿易の展開①	GATT/WTO体制の展開と現状	
4	国際貿易の展開②	各国のFTA/EPAの展開と現状	
5	国際金融の展開	各国通貨の動向	
6	農産物自由貿易体制①	GATT/WTOと農業分野の国際交渉展開	
7	農産物自由貿易体制②	各国のFTA/EPAと農業分野の交渉展開	
8	世界農業の動向①	先進国の農業問題と農業政策	
9	世界農業の動向②	経済新興国の農業問題と農業政策	
10	世界農業の動向③	開発途上国の農業問題	
11	多国籍企業の展開①	多国籍アグリビジネスの展開	
12	多国籍企業の展開②	多国籍アグリビジネスの事例	
13	食と農の国際的運動①	反グローバリゼーション運動の展開	
14	食と農の国際的運動②	フェアトレード、スローフード運動等	
15	総括	これまでの講義内容の総括	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

食料主権のグランドデザイン／村田武／農文協

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

食と農の政治経済学／ヘンリー・バーンスタイン／桜井書店

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

レポート：50%、授業中の発表：50%

◆オフィスアワー

毎週金曜日の5限に研究室で質問等を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

講義のディスカッションでは積極的な発言して頂きたい。